



ニュースレター

発行日 2007. 11. 20.

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

Vol. 51

鳥海山も太平山も雪を頂いて晩秋の淡い光に輝いています。皆様には平素、あきたパートナーシップの事業にご支援いただきありがとうございます。開催したセミナーや、来月行われる事業を載せています。どうぞお気軽にご参加くださってご意見などいただければ幸いです。有料のものも、あきたパートナーシップの会員の皆様は無料となっています。

地域リーダー研修会が開かれました

～地域リーダー研修会「災害時、あなたの町内はどうする!？」～
11月1日(木)

天気は雨でしたが参加者は一般40名と新聞記者2名、関係者を入れて52名で講座は行われました。秋田市自主防災組織連絡協議会会長の高橋重道氏の進行で、寺内小学区児桜新生町内会自主防災隊長の工藤一郎氏と大住学区稗田南町内会自主防災隊長の梅邑供治氏より、安全マップの作成や担架での運搬訓練や炊き出し訓練などの実体験を発表していただきました。「体験を聞いて、自分の町内でも何かやらなければ・・・」「避難訓練を近隣の町内会と合同でやりたい」などの感想をいただきました。(事業推進課 千田)



NPO と行政の協働推進セミナー「指定管理者、ここが知りたい」が開かれました

11月10日（土）

あきたパートナーシップの行っている遊学舎の指定管理はまさに NPO と行政の協働の事業ですが、これからは地域のコミュニティセンターなども地域の人が運営することになります。このセミナーでは、協働に関する秋田県の実態や全国的な動きを知り、今後とも利用者にとって良いサービスを提供してゆくためには…などを話し合いました。すでに地域の方々に運営している保戸野コミセンの運営委員長船木忠男さんが「サークルの人の利用と地域の自治会の会議や活動などが重なった時には、理由を話してサークルの方に遠慮して貰う」などのきまりをつくるなど、苦労話や解決のための工夫も伺うことができました。（NPO 活動支援室・高杉）



19年度第1回運営評価委員会がありました

11月12日（月）

遊学舎を運営するために欠かせないのは、利用者の声をよく聞いて運営することとともに、学識経験者や地域の方にも運営についてご意見をいただくことです。この運営委員会は今年度上期の運営について委員の方々にご意見を伺うものです。運営上改善すべき点への助言や提案をいただくことができました。（事務局長・高杉）

ここからは、今後の事業のお知らせです。いずれも遊学舎研修室が会場です。

第4回目患者塾 ～薬について ここが聞きたい～

日時：12月2日（日）13：30～16：00

話題提供を松岡内科クリニック院長の松岡一志先生、寺田内科医院院長の寺田俊夫先生、佐藤医院院長の佐藤家隆先生にさせていただきます。テーマ以外のことも聞けます。（事業推進課・畠山）

広報術講座

日時：12月8日（土）10：00～15：00

㈱BAU-HAUSの社長でアートディレクターの森川恒さんが講師となって、チラシの作り方と同時に、それをどうマスコミなどに広報するかの方法も教えていただきます。昨年に続いて2回目の講座です。（NPO 活動支援室・高杉）